

日本劇作家協会 2020年度(令和2年度) 事業報告

1. 会員(2021年3月31日)

正会員:595名 入会:80名 復帰:2名
退会:21名 除籍:0名
逝去:4名

賛助会員 団体:10団体
個人:8名

2. 会合

- ①理事会 5回:5月26日、9月16日、9月23日、2月23日、3月31日
- ②代議員総会 2回:5月28日(定時)、2月23日(特別)
- ③会員総会 延期
- ④運営委員会 3回:5月28日、10月15日、12月22日

3. 育成、コンクール、セミナー

- ①第26回劇作家協会新人戯曲賞(後援:公益財団法人一ツ橋総合財団)
6月～応募作受付と一次審査二次審査、12月13日公開最終選考会を開催(オンライン開催)
- ②戯曲セミナー
中止
- ③研修課(文化庁委託事業)
5月～3月、担当講師:坂手洋二、佃典彦、松田正隆、横内謙介
- ④公開講座(文化庁委託事業)
8月8日「別役実 本人のいない最終講義 ー教えてよ、別役さん」
「コロナと演劇 ー寄って喋れば明日の知恵」(於 座・高円寺 ※無観客開催)

4. 普及、ワークショップ、シンポジウム

- ①月いちリーディング
1)東京・神奈川:6月、7月、9月、10月、11月、1月、2月(すべてオンライン開催)
2)大阪:9月、1月、3月(すべてオンライン開催)
3)九州:11月(於 宮崎・M★ういんぐ)、2月(於 北九州・枝光本町商店街アイアンシアター)
4)東北:12月(於 盛岡劇場ミニホール)
 - ②11月21日、関西版月いちリーディングスペシャル企画「劇作バトル！」(於 ドーンセンター)
 - ③12月「リーディングフェスタ2020 戯曲に乾杯」
「別役実さん、どちらへ ー別役実 未上演戯曲リーディング」「この戯曲の〇〇がすごい! Vol.2『小劇場のこのエンタメがすごい!』」「新人戯曲賞最終候補作プレビューリーディング」
(すべてZOOM収録、YouTube 公開)
 - ④「劇作家と俳優のための せりふの読み方 ワークショップ」
1)12月1日～4日 講師:古川健(於 座・高円寺阿波おどりホール)
2)2月17日～19日 講師:谷賢一(オンライン開催)
- ※以上、いずれも文化庁委託事業

5. 出版

- ①第26回劇作家協会新人戯曲賞最終候補作掲載「優秀新人戯曲集2021」、12月に刊行
- ②戯曲オンデマンド出版・電子書籍「二十一世紀戯曲文庫」18タイトル、販売継続
- ③会報(『ト書き』)の発行 2回:65号(1月)、66号(3月)
- ④戯曲英訳出版(文化庁委託事業):3月に「ENGEKI:Japanese Theatre in the New Millennium 6」刊行

6. 調査、資料収集

- ①座・高円寺の演劇資料室(アーカイブ)の蔵書(主に戯曲)収集に協力

7. 協力、パートナーシップ、後援

- ①座・高円寺の「2020年度日本劇作家協会プログラム」9作品が上演(7月～3月)
※5月～6月の3公演が中止
- ②座・高円寺の「2022年度日本劇作家協会プログラム」の募集と推薦
- ③座・高円寺劇場創造アカデミーに名義協力
- ④吉里吉里忌実行委員会の「吉里吉里忌 2020」(11月開催)に名義後援
- ⑤NPO 法人シアターネットワークえひめの「四国劇王VIII」に名義後援
- ⑥公益社団法人国際演劇協会日本センターの「紛争地域から生まれた演劇12」に名義協力
- ⑦白河文化交流館コミネス指定管理者 特定非営利活動法人カルチャーネットワークの「第6回ハイスクール劇王 高校生短編演劇競技大会」に名義後援

- ⑧吉里吉里忌実行委員会の「吉里吉里忌 2021」(2021年4月開催)に名義後援
- ⑨特定非営利活動法人シアター・アクセシビリティ・ネットワークの「第7回 TA-net シンポジウム」に名義後援

8. 国際交流

- ①日韓演劇交流センター、英訳・仏訳戯曲集贈呈などの継続活動と海外からの問い合わせなどに対応

9. 著作権、契約

- ①戯曲の著作権や上演許諾などに関する問い合わせへの対応を継続

10. 声明・アピール

- ①10月6日「政府による『日本学術会議』人事について経緯を明らかにすることを求める声明」を発表

11. 支部、地域交流事業

- ①北海道支部;
 - 1) 劇作講座を主催
 - 2) 「北海道戯曲賞」に協力
- ②東北支部;
 - 1) 上記4. で記載の盛岡市での「月いちリーディング」を主催
 - 2) 「3. 11 震災戯曲でふり返る10年」を主催(高校演劇委員会との合同企画)
- ③東海支部;
 - 1) 「ナビイチリーディング」を共同主催
 - 2) 「リーディング劇王」をプロデュース
- ④関西支部;
 - 上記4. で記載の大阪市での「月いちリーディング」と「劇作バトル！」を主催
- ⑤中国支部;
 - 1) 機関誌『イトデンワ』発行
- ⑥九州支部;
 - 1) 上記4. で記載の宮崎県三股町と北九州市での「月いちリーディング」を主催
 - 2) オンライン雑談会「劇ぺちゃ」を主催

12. 特別事業

- ①「緊急舞台芸術アーカイブ+デジタルシアター化支援事業」(文化庁令和2年度戦略的芸術文化創造推進事業「文化芸術収益力強化事業」)《事業(2)戯曲の収集とデジタル化》事業の受託・実施
→「戯曲デジタルアーカイブ」
- ②文化庁令和2年度戦略的芸術文化創造推進事業「文化芸術収益力強化事業」(公募3)《戯曲セミナー講義の映像化、シミュレーション、および名作戯曲のリーディングアーカイブ化》事業の受託・実施

13. コロナ対策関連

- ①コロナ対策室の設置
- ②演劇緊急支援プロジェクトに参加
- ③緊急事態舞台芸術ネットワークに賛同
- ④文化庁・日本芸術文化振興会「文化芸術活動の継続支援事業 事前確認手続きに関する業務」を受託
→事前確認番号の発行、計2, 284件

14. セクシャル・ハラスメント

- ①12月「ハラスメント対応の基本要綱説明会」開催(オンライン開催)

15. その他

- ①令和3年度文化庁新進芸術家海外研修制度(長期研修)の応募受付 → 応募者なし

16. 特記

- ①2月23日、特別代議員総会において、2021年3月1日から1年間の理事5名を選任。
理事:長田育恵、鈴木聡、佃典彦、永井愛、渡辺えり
- ②2月23日、特別代議員総会で選任された理事による理事会において、2021年3月1日から1年間の代表理事(会長)を選定。
代表理事(会長):渡辺えり
※副会長の瀬戸山美咲とマキノノゾミも再選
※代議員選挙が実施されない年なので、特段の事情がない限り、理事、会長、副会長は再選される。

以上